

平成29年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表 集計結果

ガーデンキッズトリア

放課後等デイサービス

ピッコロ

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

【現状と対策】

・お子様の数や活動内容に応じて、アコーディオンカーテンで仕切る等してクラス分けを行い、少人数での療育が行えるよう環境設定に工夫しています。

②職員の配置数や専門性は適切であるか

【改善目標、工夫している点など】

・職員数においては、配置基準を十分に満たしています。専門性については、児童発達支援の基礎的な研修から放課後等デイサービス関係の研修等へ全員が均等に参加できるようにしています。また、臨床発達心理士、理学療法士も配置し、適時療育についての助言を得て支援の参考にしています。保護者からのご要望に応じて、専門職との面談等も設定しています。

③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

【現状と対策】

・玄関や療育室内の段差をなくしています。ビル2階に設置されている事業所の為、階段には手すりを設置しています。施設内の見学についても、ご要望があればいつでも対応しています。

④業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標と振り返り)に、広く職員が参画しているか

【改善目標、工夫している点など】

・PDCAサイクルについては、療育前の打ち合わせ、療育後の振り返りやチーム会議等により、職員間でお子様の状態像に応じた支援ができていないか活発な意見交換や振り返りを行う時間を設けています。また、グループウェア(情報共有ソフト)も活用しながら情報共有を行い、支援方法の改善意識の向上に努めています。

⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

【改善目標、工夫している点など】

・活動プログラムや行事企画については、本アンケート等での保護者の意見も踏まえながら、改善に努めていきます。また、今後も継続してアンケートを行い、業務改善につなげるよう努めます。

⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

【現状と対策】

・昨年度分よりホームページ等で自己評価結果を公開しており、今回の結果も公開していきます。

⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

【現状と対策】

・第三者評価は受審していませんが、鹿児島市からの実地指導という形で外部評価を受けています。指摘を受けた部分があれば早急に改善を行っています。

⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

【現状と対策】

・毎月園内研修やDVD視聴会を実施し、福祉全般の分野に渡って幅広く研修を行っています。その他、職員全員に各種講演会等の案内文書を配布して参加希望を募っています。また、職員から参加したい研修の希望を取り、県内・県外への研修にも参加できるよう調整を行っています。全職員が1年間のうちで必ず外部研修・法人内他事業所への体験実習・外部事業所見学のいずれかに参加しています。

⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービス計画を作成しているか

【現状と対策】

・個別支援計画を作成する際は、適切にアセスメントを行った上で作成しています。その際、お子様のサービス等利用計画を確認し、保護者からのアセスメントシートを参考にしたり、ヒアリングを行ったりしながらお子様の強みや希望・課題、保護者の要望等を照らし合わせ、計画を作成しています。また、完成したものは保護者へ内容を説明し、同意のもとに支援を行っています。また、知能検査等も行いながらお子様の状態像を把握し、支援に生かせるよう努めています。

⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

【現状と対策】

・現在は、独自のアセスメントシートと、臨床発達心理士によるWISC-IV知能検査を行い、支援の参考にしています。独自のアセスメントシートは、モニタリングや個別支援計画とも連動しています。

⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか

【現状と対策】

・毎月のプログラムについてはチーム内で意見を集め、お子様の希望や保護者の要望等も参考にしながら作成をしています。活動の運営についてはリーダーを決め、リーダーが作成した活動案をもとに参加職員で事前の打ち合わせを行い、前回の反省点を踏まえ、活動の意図やお子様に応じた支援方法等の共通理解に努めています。

⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

【現状と対策】

・主に毎月2テーマのソーシャルスキルトレーニング(対人関係、集団生活に必要とされる社会性を高める活動)に取り組んでいます。事業所で習得したスキルを社会生活で生かせるよう、繰り返し取り組むことも大切であると考え、同じテーマでも活動内容やルール遊びを変化させながら固定化しないよう工夫に努めています。また、楽しみながらコミュニケーションの幅も広がるよう、買い物や運動等の活動も取り入れています。・今後も、活動内容が固定化しないよう、チーム全体で定期的に協議検討を重ね、保護者・お子様からの意見も参考にしながら活動プログラムを考えていきます。

⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか

【現状と対策】

・平日、土曜日、長期休暇と利用時の流れは基本的に変動させていませんが、平日と比較し余裕を持って活動することが可能な長期休暇では、近所への買い物等の活動も取り入れ、活動で学んだソーシャルスキルを発揮できるような機会も設けています。また、活動の目標を決め、個別支援計画に応じた個々の課題を取り入れながら支援しています。

⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後デイサービス計画を作成しているか

【現状と対策】

・お子様の状況に応じて活動内容やルール遊び等の目的を変更、工夫しながら支援を行っています。自由遊び時間では学校の宿題をする等、個別で過ごせる時間も確保しています。また、活動のねらいにも応じて学年やお子様同士の関係性に配慮したクラス編成の工夫も行っています。

⑮支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日の支援の内容や役割分担について確認しているか

【現状と対策】

・活動の流れについては事前に指導案を作成し、活動開始前にミーティングを行い、活動の流れや支援内容の確認、役割分担について打ち合わせを行っています。お子様の状況や重点的に支援する内容等について共通理解しながら支援できるよう努めています。

⑯支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日の支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

【現状と対策】

・支援終了後、お子様の特記事項や状況等について振り返りの場を設け、職員間で気付いた点などを話し合い、情報の共有を行っています。また、活動の進行における工夫点や修正が必要な箇所等も併せて情報交換を行い、反省点が次の活動では改善できるよう努めています。

⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

【現状と対策】

・利用時の様子については、全員分を毎日ケース記録へ記入しています。支援日誌等については個別ケースファイルにまとめ、いつでも閲覧ができるようにしています。記入した記録も参考にしながら活動内容や支援方法の改善に努めています。

⑩定期的にモニタリングを行い、放課後デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか

【現状と対策】

・個別支援計画作成後、定められた期間に合わせてモニタリングを行い、担当・チーフ・児童発達支援管理責任者で個別支援計画作成モニタリング会議を行います。その際に計画の見直しが必要か継続するかの判断を行い、見直しをする場合は再アセスメントし、お子様の状況やご家族の要望等も参考にしながら個別支援計画の作成を行っています。

⑪ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか

【現状と対策】

・お子様の課題を解決することを目指し、総則にある日常生活動作等および自立生活を目指した活動支援、創作・地域交流・余暇支援など、学校や家庭と連携した活動プログラムを作成して支援を行っています。(項目⑫参照)

⑫障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

【現状と対策】

・サービス担当者会議については、個別支援計画担当者、またはチーフ、サブチーフが参加しています。参加が難しい場合は事前に相談員に情報提供を行い、利用時の様子を伝えると共に会議後に内容についての情報共有を行い、課題やニーズの把握と支援内容の統一に努めています。

⑬学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡帳等(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか

【現状と対策】

・お子様について学校への確認事項があれば、保護者承諾の上、電話連絡等を行い、情報共有に努めています。また、必要に応じて保育所等訪問支援も実施し、学校や家庭、事業所での様子について担任教諭等と情報交換を行っています。

⑭医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

【現状と対策】

・現在、特別に医療的ケアが必要なお子様はいませんが、利用時に服薬が必要な場合は、保護者に必ず服薬依頼書(薬の種類、量、服薬時間等)を記入していただき、誤与薬や服薬忘れがないように努めています。
・大きくなてんかん発作の際など緊急時に使用する薬については、使用条件や保管場所について周知・徹底できるよう、アセスメントシートや個別支援計画への記載、職員間の伝達を行い、即座に対応できるよう努めています。

⑮就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

【改善目標、工夫している点など】

・利用前に各事業所で作成した夢すこやかファイルを保護者より預かり、内容を確認したり、担当相談支援員より情報の提供を受けたりしながら事前の情報共有に努めています。事業所によっては連携の難しいところもありますが、今後も必要に応じて積極的に連絡を取り情報収集に努めたいと考えています。

⑯学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか

【現状と対策】

・利用対象が小学校6年生までの為、これまでに例がありませんが、必要な場合は情報の提供を行っています。また、相談支援員から情報提供について依頼があればその都度伝達をしています。

⑰児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

【現状と対策】

・公開療育や児童発達支援研修会等の機会を利用し、児童発達支援センターの取り組みを学んだり、鹿児島県こども総合療育センター等の研修会にも積極的に参加したりしています。

⑳放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

【改善目標、工夫している点など】

・障害のないお子様と交流する機会はほとんどありませんが、通常学級に在籍しているお子様、特別支援学級に在籍しているお子様は、学校で日常的に障害のないお子様とも活動をしているため、学校での様子についても把握するよう努めています。

㉑(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか

【現状と対策】

・理事長が、子ども部会に参加しています。

㉒日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

【現状と対策】

・保護者とは受け入れや引き継ぎの際に学校や自宅での様子、事業所での様子についてやりとりを行ったり、家庭や学校での困り事等も気軽に相談していただく為に交換ノート(保護者・事業所間)を活用したりしながら、共通理解に努めています。また、保護者から得た情報を職員同士で統一して把握する為、必ず記録に残し、チーム会議や日々のミーティングで伝達・協議を行っています。保護者との個別相談の機会も定期的に設け、お子様の発達や状況の共通理解に努めています。

㉓保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか

【現状と対策】

・ペアレントプログラムの研修を受けた職員による、一部の保護者向けのペアレントプログラムを開催しました。今後も多くの保護者に参加していただけるよう、継続して実施します。

㉔運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

【現状と対策】

・利用前の見学や契約の際に、施設の紹介や放課後等デイサービスの支援内容、活動プログラム、および利用料等の説明を行っています。また、保護者からの質問にはその都度返答を行っています。
・今後も継続してわかりやすい説明を行い、即時対応に努めます。

㉕保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

【現状と対策】

・利用日の受け入れの際や引き継ぎの際に保護者との情報交換を行っています。悩み事等については、可能な限り即時返答するよう努めていますが、状況により即時に返答することが難しい場合やチーム内で検討し返答する必要がある場合は、後日電話連絡等にて返答を行っています。
・毎年11月に個別相談会を実施し、保護者からの要望や悩みについて相談を受け、担当職員が返答を行っています。また、期間以外でもご希望があればその都度面談を実施し、事業所側からも個別面談の提案を行う場合もあります。
・必要に応じて保護者が困り事等を記載し、職員より返信させていただくノートを全員に準備し、日頃から保護者が悩みを打ち明けやすいように工夫を行っています。

㉖父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

【現状と対策】

・父母の会はありませんが、定期的保護者会や個別相談会等、事前に日程をお知らせして実施しています。行事計画については、年度初めのピッコロだよりにて早めに伝達し、多くの方が参加できるよう努めていきます。

③子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を設備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

【改善目標、工夫している点など】

- ・今回のアンケートにて、ご意見箱設置希望とのご要望をいただき、1月よりご意見箱(園長宛、スタッフ宛)の設置をしました。いただいたご意見については、毎月のピッコロだよりにて返答をさせていただきます。
- ・苦情については第三者委員会を設置しており、事業所と保護者でサービスの契約を行う際に説明を行っています。また、苦情の内容および対応等については即時返答を行い、専用の用紙に記録として残し第三者委員会で報告しています。

④定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

【現状と対策】

- ・活動概要や行事予定については、毎月「ピッコロだより」を発行し、活動内容予定や前月についての振り返り等を掲載し、前月末までに配布できるようにしています。

⑤個人情報に十分注意しているか

【改善目標、工夫している点など】

- ・入退所受付簿を玄関に準備し、保護者に入所時間、退所時間の記入を依頼していましたが、個人情報保護を目的とし、平成29年12月より入退所受付簿は職員が記入し、管理させていただいています。
- ・個人情報については人権擁護ハンドブックを活用し、管理の徹底に努めています。写真や名前、作品等の掲示については、利用契約時に確認し、許可を得た方のみ掲示や掲載を行っています。この件に関して問い合わせがあった際は、写真や名前、作品の掲示理由と掲示するにあたり保護者の許可を得ている旨の説明を行います。
- ・小学校を訪問する際や連絡を取り合う際には、保護者に承諾を得た上で実施しています。

⑥障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

【改善目標、工夫している点など】

- ・お子様とのコミュニケーションの手段としては、お子様の状態に合わせて写真や絵カードなどの視覚的なツールも用いています。
- ・廊下で他の保護者も待機している中での引き継ぎとなる為、内容が漏れないよう、引き継ぐ場所や声量、内容等にも配慮しながら保護者と話ができるよう検討していきます。
- ・保護者との連絡については、利用時の引継ぎの際に短時間ではあっても漏れがないよう、伝えるべき要点を簡潔にまとめて職員間で伝達できるよう心掛けています。

⑦事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか

【現状と対策】

- ・法人としては、バザー・夏祭り・秋祭り・夕涼みコンサートを実施しています。事前に看板設置や地域の自治会などを通して行事の案内を行っています。秋祭りでは、地域住民の販売ブースを設け、1000人以上の来場者がありました。今後も継続して開催し、地域の行事となることを目指します。
- ・療育に興味のある地域の学生ボランティアの受け入れ等も随時行っています。

⑧緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

【改善目標、工夫している点など】

- ・現在、非常災害対策マニュアルを策定してあり、感染症などについては流行する前に園内研修などを通して職員間で対応を統一できるよう努めています。また、保護者向けのマニュアルを作成し、保護者の方々が閲覧できるよう玄関入口へ設置します。
- ・インフルエンザ感染時等の事業所利用については、学校と同じ基準で対応を行っていきます(利用再開日など)。また、学校や保護者と連携し、感染症の流行など互いに情報を共有できるよう努めています。

③⑨非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

【現状と対策】

・今年度より、年に4回避難訓練を実施し、避難訓練の実施日については、活動内容をお知らせするピッコロだよりにて事前にお伝えしています。実施後は訓練中の全体の様子や利用者の様子について、引継ぎの際に保護者へ伝達を行います。また、実施内容について施設側の記録にも残し、反省点を改善しながら、今後に繋がられるよう努めています。

④⑩虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

【現状と対策】

・虐待防止に関する研修を毎年行っています。また、人権侵害防止の為の自己チェックリスト、人権侵害防止に関する書類への署名など、虐待防止に向けた意識向上の為の取り組みを行っています。また、毎回のチーム会議でも、日頃の支援の中で人権侵害に該当している事象の有無について、振り返る時間を設け、改善に努めています。

④⑪どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了承を得た上で放課後デイサービス計画に記載しているか

【現状と対策】

・基本的に身体拘束を行う場面はありません。障害特性により興奮状態に陥った場合などの対応については、利用開始時に保護者との協議で統一して行うことを申し合わせています。極端な他害行為等の場合は、本人から離れて静観することを基本としていますが、状況によって静かに過ごせる場所への移動等の対応も行います。

④⑫食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

【現状と対策】

・利用契約時の保護者との聞き取りの中で、アレルギー症状やアレルギーの恐れのある食材について情報共有を行っています。おやつを施設から提供する場合もある為、得た情報については記録し、職員間で情報共有を行い、誤って提供することがないように努めています。

④⑬ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか

【現状と対策】

・ヒヤリハット報告書については、作成用マニュアルを用意しています。内容に関しては発生状況、気付いたこと、対応策などを記入し、作成後は専用のファイルに綴じ、いつでも閲覧できるようにしています。職員は必ず閲覧し、状況の把握、日頃からのヒヤリハットに対する意識の向上に努めています。